

**令和3年8月1日（日）**

**全国知事会 新型コロナウイルス緊急対策本部（第26回）における丸山知事  
発言（要旨）**

現在の感染状況については、連日感染者数が確認されており、第5波の影響と認識している。そして、全国の感染状況と今回の（緊急事態宣言の）発令の拡大の状況を見てみると、やはり最も緊迫した状況だと受けとめるべきと考えている。

首都圏を中心とした感染拡大は、前回は第3波であった。ただ、このときには、1月の下旬に緊急事態宣言が発令されて、その後、感染者数が下降に向かう状況だったが、今回の感染拡大は緊急事態宣言が発令されている最中の、非常に大きな感染拡大の伸びであり、そういった意味では、緊急事態宣言を追加するという対策が効かない状況であると思っている。

そして、政府から話があったワクチン（接種）については、この状況を大きく改善させる重要な指標だと思うが、残念ながら、（摂取率は）全国でもまだ3割にいくかいかないかというところであるため、（接種を終えた）3割の方々にはそういったガード（免疫）があるが、（接種をしていない）7割の方については、ない（という状況）。

また、例えば東京都の（新規感染者数の）増え方は、前の週が9420人だったのに対して、今週は土曜日までで2万人を超えるといった、前週対比で100%増という状況であるため、例えばこれ（前週対比）が1.5倍に落ちる目処があるのかと言ったらなく、（仮に）1.0倍で推移したとしても、（1日当たりの新規感染者数が）4000人や3000人というような人数に対し、2週間も3週間も対応できる医療提供体制にあるのかということについて、検証されているようには見えない。

今回、病床使用率が上がっていないのは、宿泊療養や自宅療養に振り替えられているからだと考えるが、逆に言うと、入院できている方というのは、軽症の中でも症状が重いか、中等症の方であると考えたとき、（原則全員を入院させている場合と）同じように数字を捉えるべきではなく、そういった中で、（新規感染者数や病床使用率の）客観的な数字を見ると、軽症で自宅療養やホテル（での療養）の方々、症状が悪化した場合に病院にアクセスできるのかどうかということについては、（実際は）危機的な状況ではなないかと拝察する。

確か、自宅療養が1万人、そして入院や療養の調整中の方が8000人ぐらいおられると思うが、18000人という方が自宅におられる状況に対して、継続して対応できる医療提供体制であるのか、大変心配している。

そして、ワクチンの接種は、残念ながら、1回目を今日打ったとしても、2回の接種は早くて3週間後、そして、完全に免疫を獲得されるのは、さらにその2週間後と考えると、足下で今燃えさかっている感染に対して、当面1ヶ月後にしか効果が出てこないと考えられる。

そうなると、今の感染状況に対する対策をきちんとやっていくためには、まず、今の状況が推移していくと、第3波で見られた自宅やホテルなどで亡くなる方が発生するといった状況が発生しかねないということ認め、国民や都民、関係する都道府県の住民の皆さんに（そのことを）理解していただくよう訴えていくことが、政府や知事会として欠かせないと思う。